

●感謝な出来事 ●みことばを宣べ伝える

お元気でいらっしゃいますか？

2月の後半から雪景色に包まれていたハンブルクも、先週末の雨ですっかりもとに戻り、わずかながら気温も上昇してまいりました。春の到来が待ち遠しい今日この頃です。

ほんとうは、先週、メルマガをお送りしたかったのですが、風邪で体調を崩してしまいました。今日は、やっと回復し、皆さんにお便りを書いているところです。

●感謝な出来事

「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」（マタイ6：33）

北ドイツのメルヘン街道にフェルデンという町があります。ここの“メルヘンの森”は、ヘンゼルとグレーテルのお菓子の家や、いばら姫などの童話が実物大で再現されていることで有名です。3月5日（土）、このフェルデンのすぐそばのヴェステンという小さな村に行ってきました。実は、知り合いのロシア人ピクトールが、この村のザンクト・アンネン国教会のオルガニスト・合唱指揮者として就任したからです。

ピクトールは、昨年、ロシアの音楽院からハンブルクのロシア正教会の合唱指揮者として招かれましたが、教会の経済破綻で、数ヶ月で解雇されました。ロシア音楽院の教師職を辞任してきた彼は、奥さんのオルガと生まれたばかりのゲオルギーをかかえて路頭に迷いました。ビザの問題もあります。そして、何とかドイツで音楽で生きる道はないかと私に相談に来たのです。

日本へ行く直前だった私は、「どこかのドイツ国教会がオルガニストとして雇ってくれないかしらねえ・・・でもピクトール、どんな時にも神の国と神の義を求め続けてね。そうしたら、必要なものはすべて神様が与えてくださるから。」と言うことしかできず、彼のために祈って日本へ発ったのです。でも、そのとき一緒にいたドイツ語の堪能な彼の友人が、数日後インターネットで探しました。そうしたら、何と、国教会がオルガニストを至急公募していたのです！それも、ハンブルクからさほど離れていないところにです。



素晴らしいオルガニストであり、合唱指揮者であるピクトールはすぐに採用されました。そして、私がドイツに戻るのを待って、彼と奥さんは、ヴェステンの新しいアパートに招待してくれたのでした。

写真は、1219年(!)に建てられたザンクト・アンネン教会です。村の人口はわずかにもかかわらず、日曜日の礼拝には400人ほどが集まるので、小さな教会は人々で満ち溢れるそうです。

●みことばを宣べ伝える

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」(Ⅱ テモテ4:2)

その前の週の2月26日(土)、教会で4年前から1~2ヶ月おきに催されている「レディース・カフェ」がありました。そこでは、なごやかにお茶とケーキをいただきながら、「みことばの時」を持っています。今回の参加者は8名、うち教会員3名以外は、ほとんどがノン・クリスチャンのご婦人たちでした。



私たちの教会では、伝道に、よく「十字架の橋」(キャンパス・クルセード・フォー・クライストのトラクト「4つの法則」と似たもの)と題する絵を描きながら、神様の救いの計画を説明しますが、今回司会者のウーテは、絵の代わりに十字架の飾りやバラの枝などを使用しました。そして、長くならないようにと、いくつかの聖句のみを用いて、キリストの十字架による罪の赦しと和解を説明したのです。

聞きながら、神のみことばはこれほどまでに力があるのだ、と改めて感嘆しました。同時に、神のみことばを宣べ伝える大切さを思いました。このように、単純に、大胆に、ただ聖霊の導きによって神のみことばを証しすることを私の生活の一部にしたい、そのためには、私自身がもっとみことばに生きなければ、と思わされたのです。その後、私が証しを交えながら賛美しました。

終わってから、ご婦人たちが、「今日は、すべてが心に深く響きました。」と異口同音におっしゃいました。私も、すべてに主が御臨在くださったと感じました。今は、そのご婦人たちが一日も早く確かな救いに導かれますようにと祈る毎日です。

ちなみに、次回の「レディース・カフェ」は、4月9日です。どうぞお祈りください。

●お祈りください

♪3月19日~28日のイタリア旅行のために

♪3月19日~28日のイタリア旅行のために

・今回の参加者は 18 名です。84 才の 2 名のご婦人を筆頭にご高齢の方が多いので、皆さんの健康が守られ、祝された旅行となりますように。

・信仰をもって生み出された建築物や美術品を通して、キリストの香りをいっぱいかぐことができますように。

・旅の最後まで、互いに思いやり、特にクリスチャンの方々が、主の愛を証しできよう。

・主が、みことばを大胆に宣べ伝えさせていただきますように。

♪ 4月2日、3日のパリでの賛美コンサートのために

・ 4月2日（土）18時開演 韓国人バプテスト教会

・ 4月3日（日）14時 パリ日本語キリスト教会礼拝にて賛美と証し

（両日ともパリ日本語教会主催。連絡先：稲垣博史牧師 33-1-4190-9210）

・パリの教会の皆さんも一丸となって準備を進めてくださっています。どうか多くの方々がコンサートに来てくださいますように。

・また、私は先週から風邪をひいてしまいましたので、コンサートまで、賛美する声が整えられま
すようお祈りください。

次回のメルマガは、パリのコンサートが終わってから皆様に送らせていただきます。

受難節のこの時、特に主との深い交わりの時となりますことをお祈りしています。

主の平安が皆様とともにありますように！

工藤篤子